

道路16 国道11号の二次改築(香川県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
香川48	高松百年史編集室編「高松百年史 下巻」(高松市、1989年)、728頁	<p>国道11号坂出・丸亀バイパス (中略)府中町で高松南バイパスと連結し、暫定二車線の供用区間が一部残ってはいるものの、瀬戸大橋の受け皿道路としてその機能を果たすことになった。</p>
香川98	新修豊浜町誌編さん委員会編「新修豊浜町誌」(豊浜町、1995年)、384頁	<p>国道11号の改修 (中略)車社会の進展にともなって、沿線には新しく、レストラン、飲食店、ガソリンスタンド、各種事業所、店舗、工場などができ、豊浜町の新しい顔が誕生してきた。自動車の交通量は一日約一万六〇〇〇台である。ちなみに、昭和四五年には約八〇〇〇台であった。 新国道一一号は、箕浦地区では海岸の埋め立てで拡張をおこない、堀切・関谷から旧豊浜町内では市街地を通る旧道を避けて海岸沿いに新道を建設するなどによって、一挙に幅を一五メートルに広げている。</p>
香川132	国土交通省四国地方整備局編「一般国道11号高松東道路(事後評価)」(平成25年度第5回事業評価監視委員会資料、2014年)、5-7頁	<p>国道11号高松東道路の事業効果 (1)高松市内東西方向の旅行速度が上昇 高松東道路を含む断面交通量は、平成2年と比較して平成22年には約1.3倍に増加しており、そのうち約3割を高松東道路が占めている。東西方向の交通は、高松東道路が大動脈として機能することで、国道11号など幹線道路における混雑時旅行速度が約1.2倍上昇し、円滑な交通が確保され、利便性が向上した。 (2)地域の発展に寄与 高松東道路の整備に合わせ、太田第2土地区画整理事業(360ha)が実施された。高松東道路の整備と土地区画整理事業により、高松東道路周辺では多くの商業施設等が出店し、雇用者数も増加するなど、地域の発展に寄与している。 (3)ことでん立体交差化により交通渋滞が解消 ことでん琴平線、長尾線の踏切では朝の通勤時間帯に最大待ち時間3分、最大延長400mの渋滞が発生していたが、立体交差化により、踏切に起因する交通渋滞が解消し、所要時間が短縮することで、道路利用者の利便性が向上した。</p>

道路16 国道11号の二次改築(香川県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
香川133	国土交通省四国地方整備局編「一般国道11号坂出・丸亀バイパス(事後評価)」(平成25年度第5回事業評価監視委員会資料、2014年)、5-7頁	<p>国道11号坂出・丸亀バイパスの事業効果</p> <p>(1)経済発展を支援 坂出・丸亀バイパスを含む断面交通量は、昭和52年と比較して平成22年には約3倍に増加しており、そのうち約4割を坂出・丸亀バイパスが占めている。沿線地域では交通量が増加している。また、石油・石炭製品や輸送機械を中心とした製造品出荷額等が増加し、経済が発展している。</p> <p>(2)西庄オフランプ整備により利便性が向上 西庄オフランプの整備により、坂出・丸亀バイパスから坂出市西庄町へ坂出市街地を通らずにアクセスできるようになり、所要時間が半減し、沿線住民をはじめとする道路利用者の移動の利便性が向上した。</p> <p>(3)交通事故が減少 坂出・丸亀バイパスの整備前は、原田西交差点～中村町交差点において、交通事故が年間で約69件発生しており、安全性の確保が課題であった。坂出・丸亀バイパスの整備により、旧国道の交通量が約1/3に減少することで、登下校の児童が利用しやすい安全な歩道環境となった。坂出・丸亀バイパスと合計しても、交通事故が約1/3に減少するなど、道路利用者の安全性が向上した。</p>
四国1	四国の建設のあゆみ編纂委員会編「四国の建設のあゆみ」(四国建設弘済会、1990年)、829頁	<p>国道11号・30号クリエイティブ高松・中央通りプロムナード (中略)</p> <p>工事は、六十三年度末現在、番町地下道との関連区間を残して完成し、歩道・照明などが整備され、歩行者空間が開放されて、植栽帯には、ハナミズキ・ツツジが咲き季節感あふれる道路に生れ変わり、その新しい景観は多くの市民の好評を得ている。</p>
四国22	土木学会中国四国支部編「土木へのいざない」(土木学会中国四国支部、1991年)、110頁	<p>国道11号・30号クリエイティブ高松・中央通りプロムナード (中略)</p> <p>中央通りの整備により、快適で美しい都市空間の創出及び交通機能の回復がなされ、緑豊かに繁った並木とひろびろと整備された歩道に、広がる青空から太陽がいっぱいこぼれそそぎ、利用者には憩いと語らいの場ともなっています。</p>